

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 大腸癌における閉塞環境と金属ステントによるその減圧が、がんの進展に与える影響:臨床的及び病理組織学的視点からの検討』

研究機関名 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者 消化器外科 職位・氏名 講師 鏡哲

【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、閉塞性大腸癌による腫瘍学のおよび臨床的影響を検討することを目的とした研究に利用します。

この研究で得られる成果は、今後のより良い閉塞性大腸癌治療の開発につながります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

試料:手術で摘出した組織

情報:病歴、診療の治療歴、病理組織診断の結果等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

対象者に未成年は含みません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025年9月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 酒井 謙

【試料・情報の取得方法】

対象者になる可能性のある方:2000年12月～2020年12月までに東邦大学医療センター大森病院 一般・消化器外科において、閉塞性大腸癌の手術を受けた方、および非閉塞性大腸癌の手術を受けた方(臨床研究 M22180:「大腸癌における閉塞環境が、がんの進展に与える影響:臨床学的及び病理学的視点からの検討」の対象であった方。本研究は、M22180 から継続して実施されます。)

方 法:切除検体の病理切片等、及び診療録から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大森病院 消化器センター(消化器外科)

研究代表医師:鏡 哲

役職:講師

【利用する者の範囲】

上記研究組織に限ります。

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大森病院 消化器外科 大塚由一郎

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年1月31日までに下記へご連絡下さい。認知機能が低下された方や死亡された方におきましては、代諾者からの申し出をお受けします。

申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器外科

職位・氏名 講師 鏡哲

電話 03-3762-4151 内線 6530